

第6話 散文の物語

嘘の談判 盗みの談判

収録日：1997年08月27日

資料番号：35236A

添付CD：6-1（17分14秒）

第6話 散文の物語「嘘の談判・盗みの談判」¹⁾

(ウパッシという名の男が語る)

アレヘ ウパッシ セコロ アレヘ アン アイヌ
 a=rehe upassi sekor a=rehe an aynu 私はウパッシという
 (私の)名 ウパッシ と (私の)名 ある 人

アネ ヒネ アナン ヒケ
 a=ne hine an=an hike ものです。
 (私)で して いる(私) だが

オラノ オヤコヤク コタン オツ タ
 orano oyak oyak kotan or_ ta いろいろな村に
 そして いろた いろ 村 の所 に

アラパアン ワ
 arpa=an wa 行って
 行く(私) して

5 スンケ チャランケ イッカ チャランケ
 sunke caranke ikka caranke 『嘘の談判・盗みの談判』を
 嘘の 談判 盗みの 談判

アキ ワ コタンウェンテアン。
 a=ki wa kotanwente=an. して村を荒らし
 (私)し て 村を荒らす(私)

アイヌ シリキラプテ アキ コロ
 aynu sirkirapte a=ki kor 人々を困らせて
 人間 苦しめる (私)し ながら

アナン ペ アネ ヒネ…
 an=an pe a=ne hine… いました。
 いる(私) もの (私)であって

コロ アナン ペ ネ ア プ
 kor an=an pe ne a p
 ながら 暮らす(私)もの だった が

10 イヌアン ルウエ ネ アクス
 inu=an ruwe ne akusu 噂に聞くとところによると
 聞く(私) こと だっ たところ

1 調査年月日は1997年8月27日。アイヌ民族博物館で後日開催されるアイヌ文化教室「アイヌ文学講座」の事前調査として上田トシ氏宅で行われた。調査者は千葉大学中川裕氏。同席者は村木美幸。この話について上田トシ氏は「西島てる氏が川上まつ子氏に語っているカセットテープを聞いて覚えた」とコメントしている。このカセットテープについての詳細は不明。またこの話は財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構編2004『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』平石清隆著「沙流地方のウエペケレ～上田としの伝承～6.ウパッシのウエペケレ」(pp665-679)として別録音の活字化資料が公開されている。またアイヌ民族博物館音声資料35237Aに同話の別録音がある。

イシカラ エトコ タ シノ ニシパ オカ ヒネ
iskar etoko ta sino nispa oka hine
石狩川 の上流 に ある 長者 い て

石狩川の上流にひとりの長者がいて

パクノ ニシパ イサム ニシパ ネ
pakno nispa isam nispa ne
それほどの 長者 いない 長者 である

並ぶ者がなくらいの長者だ

セコロ アン ハワシ…
sekor an hawas…
という 話

と

パハウ アヌ コロ アナン ヒ クス
pahaw a=nu kor an=an hi kusu
噂 (私)聞きながら いる(私) だから

聞きました。

15 ネイ タ カ アラパアン ワ… クナク
ney ta ka arpa=an wa… kunak
いつか 行く(私) して と

いつか行ってやろうと

アラム コロ アナン イケ カ
a=ramu kor an=an _hike ka
(私)思い ながら いる(私) しても

思っていました

アラパアン カ ソモ キ ノ アナン
arpa=an ka somo ki no an=an
行く(私) も しない で いる(私)

行かないでいました。

ラポッケ ネ オンネ ニシパ ウタラ
rapokke ne onne nispa utar
そのうちに その 老 紳士 達

そのうちにその家の年寄りが

イサム ヤク アイェ ワ オラ
isam yak a=ye wa ora
死んだ と (人)言っ て こんど

死んだということで

20 トウ ポ オカケ タ アン ヤク アイェ ヒ
tu po okake ta an yak a=ye hi
2 子 後 で 暮らす と (人)言う こと

ふたりの息子が遺族だと

アヌ ワ オラノ イモテキレアン
a=nu wa orano imotekire=an
(私)聞いて そして 幸いに思う(私)

聞いてそれは幸いと思いました。

ネイ タ カ アラパアン ワ
ney ta ka arpa=an wa
いつか 行く(私) して

私が行っても

オンネ ウタラ イサム ワ ネ ヤクン
onne utar isam wa ne yakun
老人 達 いない て だったら

その年寄り達がいなければ

ポヘネ スンケ チャランケ イツカ チャランケ
pohene sunke caranke ikka caranke
なおさら 嘘の 談判 盗みの 談判

なおさら『嘘の談判・盗みの談判』を

- 25 アキ フミ ピリカ セコロ アン ペ
 a=ki humi pirka sekor an pe
 (私)する感じ いい と ある もの
 するのにいいと
- ヤイヌアン コロ アナン ペ ネ ア イ クス
 yaynu=an kor an=an pe ne a _hi kusu
 思い(私) ながら いる(私) もの だった だから
 思っていました。
- シネアンタ アラパアン エトコ アオイキ ヒネ
 sineanta arpa=an etoko a=oyki hine
 ある時 行く(私) 準備を (私)し て
 ある時行く準備をして
- オラノ イシカッ トウラシ ラリウアン ヒネ
 orano iskar_ turasi rariw=an hine
 それから 石狩川 を上流へ 舟を漕ぐ(私) して
 石狩川をさかのぼって舟を漕いで
- アラパアン ルウエ ネ アクス ペツ…
 arpa=an ruwe ne akusu pet…
 行く(私) こと だっ たところ 川
 行ったところ
- 30 アラパアン ペツ ホントム タ
 arpa=an pet hontom ta
 行く(私) 川 の途中 で
 川を進んで行く道すがら
- ピリカ オケレ ポン メノコ
 pirka okere pon menoko
 それはそれは美しい 若い 女
 とてもきれいな若い女性が
- ペツ サム タ サン ヒネ
 pet sam ta san hine
 川 辺 に 出 て
 川辺で
- イフライエ コロ アン ヒネ
 ihuraye kor an hine
 洗濯し ながら い て
 洗濯をしていました。
- イヌカラ アクス オラ
 i=nukar akusu ora
 (私を)見 たところ こんど
 私を見ると
- 35 “ホ… スイ ヒナクン ウパッシ
 “ho... suy hinak un upassi
 ほら また どこか へ ウパッシ
 「ほら、またどこかへウパッシが
- スンケ チャランケ イッカ チャランケ
 sunke caranke ikka caranke
 嘘の 談判 盗みの 談判
 『嘘の談判・盗みの談判』を
- キ クス アラパ シリ アン。
 ki kusu arpa siri an.
 し に 行く 様子 ある
 しに行くみたいよ。
- ホシピ コロ ネプ カ コロ ワ ホシピ
 hosipi kor nep ka kor wa hosipi
 帰る と 何か を持つ て 帰る
 何かを奪って帰ろう

クナク ラム ワ アラパ シリ ヘ アン”
 kunak ramu wa arpa siri he an”
 と 思っ て 行く 様子 か ある

とても思っ て行くのかしら」

40 セコロ イイエ ワ
 sekor i=ye wa
 と (私に)言っ て

と言うので

エアラキンネ アコイルシカ。
 earkinne a=koiruska.
 本当に (私)腹が立つ

とても腹が立ちました。

ネン カ アレヘ アナクネ イェ カ
 nen ka a=rehe anakne ye ka
 誰 も (私の)名 は 言う も

誰も私の名をいう

ウタラ カ イサム ノ
 utar ka isam no
 人達 も いない で

者などいないのに

ネウン アイヌ ウタラ ネ ヤッカ
 neun aynu utar ne yakka
 どんな 人 達 で も

どんな人であっても

45 イエオリパク ワ アレヘ アナクネ
 i=eoripak wa a=rehe anakne
 (私に)遠慮し て (私の)名 は

私に遠慮して名前を

イエ ウタラ カ イサム ペ
 ye utar ka isam pe
 言う 人達 も いない のに

言うものなどおらず

メノコ ネ イサム カネ²
 menoko ne isam kane
 女 に いない て

まして女性はいないというのに

アレヘ レコ シリ アコヌコシネ ワ
 a=rehe reko siri a=konukosne wa
 (私の)名 呼ぶ 様子 (私)腹を立て て

私の名を呼ぶのに腹を立て

イルシカ ケウトウム アコロ コロ
 iruska kewtum a=kor kor
 怒る 気持ち (私)持ち ながら

怒りの気持ちを抱いて

50 オラ ナニ ラリウアン ヒネ
 ora nani rariw=an hine
 こんど すぐに 舟を漕ぐ(私) して

すぐ舟をこいで

イシカラ エトコ タ アラパアン イネ
 iskar etoko ta arpa=an _hine
 石狩川 の上流 に 行く(私) して

石狩川の上流に向かって行きました。

2 この言い方は他に未見。前掲書では「女のくせに」という上田トシ氏による説明があったとのこと。

- チェプ アナクネ ポロンノ
 cep anakne poronno
 魚 は たくさん
 魚がたくさん
- イシカツ タ アナクネ オカイ ペ
 iskar_ ta anakne okay pe
 石狩川 に は いる が
 石狩川にはいるので
- ネ トウ チェプ レ チェプ アライケ ヒネ
 ne tu cep re cep a=rayke hine
 その 2 魚 3 魚 (私)とっ て
 そのうちの2、3匹を捕って
- 55 チプ オロ アオマレ カネ ヒネ アラパアン ヒネ
 cip or a=omare kane hine arpa=an hine
 舟 に (私)入れた ままで そして 行く(私) して
 舟に積んで行きました。
- ネ コタン オツ タ アラパアン ヒ
 ne kotan or_ ta arpa=an hi
 その 村 の所 に 行く(私) こと
 その村に着いて
- オラ ペタル オツ タ
 ora petaru or_ ta
 こんど 水くみ場 の所 に
 水くみ場に
- アコツ チプ アヤンケ ヒネ オラ
 a=kor_ cip a=yanke hine ora
 (私)の 舟 (私)上げ て こんど
 私の舟をあげて
- アシリコテ ヒネ
 a=sirkote hine
 (私)つない で
 つないで
- 60 オラ ネア チェプ アアニ カネ ヒネ
 ora nea cep a=ani kane hine
 こんど その 魚 (私)持つ ままで そして
 魚を持って
- コタントウラシアン。
 kotanturasi=an.
 村に沿って上手に行く(私)
 村に沿って上手の方へ行きました。
- インネ コタン ポロ コタン ネ ルウェ
 inne kotan poro kotan ne ruwe
 大勢いる 村 大きな 村 である こと
 大きな村であることに
- アオクンヌレ コロ
 a=okunnure kor
 (私)驚き ながら
 驚きながら
- コタン トウラシ アラパアン ヒネ
 kotan turasi arpa=an hine
 村 沿いに上手に 行く(私) して
 村に沿って上手の方に向かいました。
- 65 コタン ノシキ タ ネ… ニシパ ネ クニ
 kotan noski ta ne… nispa ne kuni
 村 の真ん中 に その 長者 だ と
 村の真ん中にあるのが村長の家だと

アラム プ ネ クス コタン…
a=ramu p ne kusu kotan…
(私)思う もの だ から 村

思ったので

オロ タ コタン ノシキ タ アラパアン ヒネ
oro ta kotan noski ta arpa=an hine
そこ で 村 の真ん中 に 行く(私) して

その村の真ん中に行つて

インカラアン ルウエ ネ アネ…
inkar=an ruwe ne a=ne…
見る(私) こと である (私)で

見ると

チセ ソイ ネ ヤッカ シリマクナタラ ノ
cise soy ne yakka sirmaknatara no
家 外 で も 見晴らしがよく て

家の外であってもすっきりと

70 チセ ソイ ピリカノ アチャシヌレ ルウエ カ
cise soy pirvano a=casnure ruwe ka
家 外 きれいに (人)掃除する こと も

きれいに掃除してあることに

アオクンヌレ。
a=okunnure.
(私)驚く

驚きました。

ユク… サパ… カムイ サパ ニタイ
yuk... sapa... kamuy sapa nitay
シカ 頭 クマ 頭 林

クマヤ

ユク サパ ウン ニタイ
yuk sapa un nitay
シカ 頭 の 林

シカの頭骨を祭った木幣が

カムイ サパ ウン ニタイ アン ルウエ³
kamuy sapa un nitay an ruwe
クマ 頭 の 林 ある こと

林立しているのに

75 アオクンヌレ コロ オラ
a=okunnure kor ora
(私)驚き ながら こんど

驚きました。

ソイ タ シムシシカアン⁴ ルウエ ネ アクス
soy ta simusiska=an ruwe ne akusu
外 で 咳払いする(私) こと だっ たところ

外で咳払いをすると

ピリカ ワ オケレ ポン メノコ ソイエネ ヒネ
pirka wa okere pon menoko soyene hine
それはそれは美しい 若い 女 外に出る して

とてもきれいな娘が外に出て来て

イアフンケ クス イェ イ クス
i=ahunke kusu ye _hi kusu
(私を)入れる と 言う ので

私に家に入るようにと言うので

- 3 立派な長者は狩りをする能力が高いので、とつたクマヤシカなどの獲物を神の国へ送り返す儀式を行う回数が村の誰よりも多いものである。その後、獲物の頭骨は家の外にある祭壇に祭られる。他村のウパッシが見てその多さに驚いたというのだから、抜きん出て立派な長者の家であったということがわかる。
- 4 他人の家を訪問するときは、咳払いをするなどわざと音を立てて人が来たことをその家の人に知らせる。

アフナン。
ahun=an.
入る(私)

入りました。

80 オリパカン ヒネ アフナン ルウエ ネ ア プ
oripak=an hine ahun=an ruwe ne a p
遠慮する(私) して 入る(私) こと だった が

遠慮しながら家に入ると

ネア ポン メノコ カ
nea pon menoko ka
その 若い 女 も

その若い娘は

エアラキンネ イエオリパク クス
earkinne i=eoripak kusu
本当に (私に)遠慮をする ので

とても私に遠慮するので

アコオンカミ カ キ ルウエ ネ アクス
a=koonkami ka ki ruwe ne akusu
(私)拝礼する も する こと だっ たところ

私は拝礼をしました。

オラ スケ エトコオイキ コロ アン ラポッケ
ora suke etoko'oyki kor an rapokke
こんど 料理 準備し て いる 間に

そして食事の準備をしている間に

85 イシクレイエパレアン ルウエ ネ アイネ
isikreyepare=an ruwe ne ayne
目を這わせる(私) こと である うちに

目を這わせるように見回すと

ソンノ ニシパ ネ ルウエ
sonno nispa ne ruwe
本当に 長者 である こと

本当に立派な長者の家であることには

アオクンヌレ。
a=okunnure.
(私)驚く

驚きました。

ウサ シントコ⁵ ネ ヤツカ ネプ ネ ヤツカ
usa sintoko ne yakka nep ne yakka
いろいろ行器 ても 何 ても

行器であっても何であっても

オロ ミケミケ カネ クルコツ カネ オカ ルウエ
oro mikemike kane kurkot_ kane oka ruwe
そこ ピカピカ に 輝い て いる 様子

ピカピカに輝いている

90 ウサ シントコ ネ ヤツカ キ ルウエ
usa sintoko ne yakka ki ruwe
色々 行器 ても する こと

ことに

アオクンヌレ コロ
a=okunnure kor
(私)驚き ながら

驚きました。

5 和人文化から移入された漆塗りの蓋つき容器。行器(ほかい)と訳される。宝物として宝壇に置かれていておもに儀式の際に使われる。こうした漆器の多さがその家のステータスとなる。

アペエトク タ アアン ヒネ アナン ラポッケ apeetok ta a=an hine an=an rapokke 横座 に 座る(私) して いる(私) 間に	横座に座っていると
イワクタラ イワクパ ルウェ ネ ノイネ iwak utar iwakpa ruwe ne noyne 帰る 人達 帰る こと の ようで	人が帰って来たようで
ネア ポン メノコ ソイネ アクス オラ nea pon menoko soyne akusu ora その 若い 女 外に出た ところ こんど	あの若い娘が外に出て
95 アナニ イェ ワ コトム アン ア プ an=an _hi ye wa kotom an a p いる(私) こと 言っ た ようで あっ た が	私がいることを告げたようでした。
オラ ネ イワクタラ ora ne iwak utar こんど その 帰る 人達	そして帰って来た人達は
アフプ ワ アラキパ ヤッカ ahup wa arkipa yakka 入っ て 来て も	
ソヨシピタツパ カ ソモ キ ノ ⁶ soyosipitappa ka somo ki no 外で身支度を解く も しない で	外で身支度を解くこともなく
アフツパ ヒネ ahuppa hine 入っ て	入って来て
100 トンチカマニ カ タ アシ トウシテツカパ ⁷ ワ toncikamani ka ta as tustekkapa wa 敷居 の上に 立ち ながめ て	敷居の上に仁王立ちになり
イシケライケパ コロ オカ アイネ i=sikeraykepa kor oka ayne (私を)睨みつけ ながら い たあげく	私を睨みつけていたあげく
オラ イユプネクル ⁸ オシソウン ワ ora iyupnekur osisoun wa こんど 兄である人 右座 に	兄である人は右座に
チョアシロツケ コロ ア。 coasirotkе kor a. ドスンとし ながら 座る	ドスンと座りました。
ウトウルケ ウン uturke un 下座 に	その下座の方に

6 山猿から帰って来たときは、外仕事のために身につけていたものを外で脱いでから家に入るのが通例である。この場合のようにそれをせずに入って来たというのは、この後に起こる状況を予測してのことだろう。

7 tustek(ka) ながめる [久927]、ト⁷シテク tus-tek 金しばり [萱]

8 イユクネクルと聞こえるが、意味するところはイユプネクル iyupnekur「兄である人」。以下も同じ。

- 105 イアクネクル ウネノ チョアシロツケ ヒネ
iaknekur uneno coasirotke hine
弟である人 同じ ドスンと座る して
弟も同じようにドスンと座り
- モノ アパ ヒネ オカ ヒ クス
mono apa hine oka hi kusu
座っ て いる だ から
ました。
- アエランカラブ ヒケ カ
a=erankarap hike ka
(私)挨拶する して も
私が挨拶の拝礼をしても
- ピリカノ イエランカラッパ カ ソモ キ ノ
pirkano i=erankarappa ka somo ki no
よく (私に)挨拶する も しない で
きちんと返礼することもせず
- ウエンノ ウエンノ⁹ イエランカラッパ ヒ
wenno wenno i=erankarappa hi
軽く 軽く (私に)挨拶する こと
雑に挨拶の拝礼を返しました。
- 110 オラ マカナク アイェ ワ
ora makanak a=ye wa
こんど どのように (私)言う して
そして私が何を言って
- アコチャランケ ヤク ピリカ セコロ アン ペ
a=kocaranke yak pirka sekor an pe
(私)になんくせをつける と いい と ある もの
なんくせをつけたらいいかと
- ヤイヌアン コロ
yaynu=an kor
思う(私) ながら
思っていると
- オラ ネア ポン メノコ
ora nea pon menoko
こんど あの 若い 女
あの若い娘が
- スケ コロ アン ラポツケ
suke kor an rapokke
料理し ながら いる 間に
料理をしている間には
- 115 オラ イヘコテ イタクパ カ ソモ キ コロカ
ora i=hekote itakpa ka somo ki korka
こんど (私)に 話す も しない けれど
男達は私に話しかけることもしません。
- オラ アミ ワ オカイ ペ… アリシパリシパ
ora a=mi wa okay pe… a=risparispa
こんど (私)着 て いる もの (私)むしる
私は着ているものをむしって
- ネウン カ ヤシケ ウシケ ヘネ アン ヤクン
neun ka yaske uske hene an yakun
どこ か 裂ける 所 でも ある ならば
どこか破れたところでもあれば

9 ゆっくりとした動作で丁重に行うのが本来の挨拶であるが、それを速い動きで雑に行うというのは相手を良く思わない、軽く見ていることを示している。

アリシパリシパ コロ アナン ラポク
a=risparispa kor an=an rapok
(私)むしり ながら いる(私) 間に

むしって

シリポク ネイ ワ カ アヤサ エアシカイ
sirpok ney wa ka a=yasa easkay
糸くず どこ から も (私)むしる ができる

糸くずをどこからかむしろ

120 クニ ペコロ ヤイヌアン ワ
kuni pekor yaynu=an wa
と のように 思う(私) して

とたくらんで

オラノ アミ ワ オカイ ペ
orano a=mi wa okay pe
そして (私)着 て いる もの

着物を

アリシパリシパ ヒネ シリポク アカラ ヒネ
a=risparispa hine sirpok a=kar hine
(私)むしっ て 糸くず (私)作っ て

むしって糸くずを作り

ネ アアニ カネ ヒネ アナン ア プ…
ne a=ani kane hine an=an a p…
それ (私)持つ も して いる(私) したが

それを持っていました。

ラポッケ ネア ポン メノコ
rapokke nea pon menoko
そのうちに その 若い 女

そのうちにその若い娘は

125 スケ オケレ ヒネ
suke okere hine
料理 終え て

料理を終えて

ユプタリ コイプニ ヒネ ネ… オラ
yup utari koypuni hine ne… ora
兄 達 に出し て その こんど

兄達に食事を出して

イコイプニ ヒ クス
i=koypuni hi kusu
(私に)出す だ から

私にも出してくれました。

ネア シリポク ネア イタンキ オロ
nea sirpok nea itanki oro
その 糸くず その 椀 に

私は糸くずを椀の中に

アオマレ ヒネ
a=omare hine
(私)入れ て

入れて

130 パスイ アニ アウコポイポイエ ペコロ
pasuy ani a=ukopoypoye pekor
箸 で (私)混ぜる ように

箸で混ぜるようにして

イキアン コロ アナン ラポッケ
iki=an kor an=an rapokke
する(私) ながら いる(私) そのうちに

いました。

ネ イユブネ ウタラ イペパ コロ
 ne iyupne utar ipepa kor
 その 兄である 人達 食べ ながら

兄達が食事をして

オカ ヒ クス
 oka hi kusu
 いる だから

いるので

オラ ネ アコロ イタンキ アポイパポイパ
 ora ne a=kor itanki a=poypapoypa
 こんど その (私の) 腕 (私)混ぜる

私は腕をかき混ぜる

135 ペコロ イキアン コロ
 pekor iki=an kor
 ように する(私) しながら

ようなしぐさをしながら

ネア シリポク アコロ イタンキ オロ
 nea sirpok a=kor itanki oro
 その 糸くず (私の) 腕 に

糸くずを私の腕に

アオマレ ワ アアヌ プ ネ クス
 a=omare wa a=anu p ne kusu
 (私)入れ て (私)置く ものだから

入れました。

オラ パスイ アニ
 ora pasuy ani
 こんど 箸 で

そして箸で

ネア シリポク アタララ コロ¹⁰
 nea sirpok a=tarara kor
 その 糸くず (私)持ち上げ ながら

その糸くずを持ち上げて

140 … コロ オラ…
 … kor ora…
 ながら こんど

“ヒナク タ プリ ネ ヒネ
 “ hinak ta puri ne hine
 どこ の 風習 で して

「どこの風習で

アコロ イタンキ オツ タ
 a=kor itanki or_ ta
 (私)の 腕 の所 に

私の腕に

シリポク オマ ワ アン”
 sirpok oma wa an”
 糸くず 入れ て ある

糸くずが入っているのだ」

セコロ ハウエアナン。
 sekor hawean=an.
 と 言う(私)

と言いました。

10 現在でも飲食店で「虫が入っていた」のようにいちゃもんをつける迷惑行為があるが、これも同じように金品を受け取ることが目的のいちゃもん、なんくせの類である。

145 “ネイ タ アラパアン ワ イペアン ヤッカ
 “ney ta arpa=an wa ipe=an yakka
 どこ に 行く(私) して 食事する(私) しても

「どこに行って食事をしても

イタンキ オツ タ アナクネ
 itanki or_ ta anakne
 椀 の所 に は

椀に

シリポク アナクネ オマ ワ イペアン カ
 sirpok anakne oma wa ipe=an ka
 糸くず が 入っ て 食べる(私) も

糸くずが入っていると言うのは

エラミシカリ プ
 eramiskari p
 聞いたことがない が

聞いたことがない。

エネ アン ニシパ オツ タ マク ネ ヒネ
 ene an nispa or_ ta mak ne hine
 このように ある 長者 に どう で して

あなたのところでは一体どうして

150 アコロ イタンキ オツ タ シリポク オマ ワ
 a=kor itanki or_ ta sirpok oma wa
 (私)の 椀 の所 に 糸くず 入れ て

椀に糸くずが入って

アン ルウエ アン”
 an ruwe an”
 ある こと ある

いるのだろうか」

セコロ ハウエアナン ヤッカ
 sekor hawean=an yakka
 と 言う(私) しても

と言っても

ソモ ヌ アペコロ オカ コロ
 somo nu apekor oka kor
 聞かない かのよう に い ながら

聞こえないふりをしていて

ネ イユブネ ウタラ
 ne iyupne utar
 その 兄である 人達

その男達は

155 イペパ コロ オカ ヒ クス
 ipepa kor oka hi kusu
 食べ ながら いる だ から

食事をしていましたので

ルイノ ネ シリポク オマ ヘ
 ruyno ne sirpok oma he
 ひどく その 糸くず 入れる か

もっと糸くずを入れて

パスイ アニ アタララ ヤッカ
 pasuy ani a=tarara yakka
 箸 で (私)持ち上げ ても

箸で持ち上げても

ソモ ヌ アペコロ オカ。
 somo nu apekor oka.
 聞かないかのよう に いる

聞かないかのようでした。

- ソモ ヌカラ ペコロ オカ コロ
somo nukar pekor oka kor
見ない かのようにい ながら
- 私を見ないようにしながら
- 160 イペパ コロ オカ ア プ セコロ
ipepa kor oka a p sekor
食事をし ながら い た 途端に
- 食事をしていたのですが、すぐに
- ネア イユプネクル マッコサヌ ヒネ
nea iyupnekur makkosanu hine
その 兄である人 ぱっと して
- その男達は急に飛びかかって来て
- アサパウシペ テッコノイエ ヒネ
a=sapauspe tekkonoye hine
(私の)髪の手でねじっ て
- 私の頭の毛をねじりあげ
- エソイネ イニンパニンパ ヒネ
esoyne i=ninpaninpa hine
外に (私を)ひきずっ て
- 外にひきずって行きました。
- “ウパッシ ウェンクル ウェン アイヌ サニ。
“upassi wenkur wen aynu sani.
ウパッシ 貧乏人 悪い 人 の子孫
- 「ウパッシ。この悪い人間の子孫め。
- 165 ウェンクル サニ エコロ ウェン プリ
wenkur sani e=kor wen puri
貧乏人 の子孫 (お前)の 悪い ふるまい
- 貧乏人の子孫であるおまえの悪いおこないを
- アエラミシカリ コロ アナン ルウェ ネ ヤ
a=eramiskari kor an=an ruwe ne ya
(私)知らない で いる(私) こと だ か
- 知らないとでも
- エエラミシカリ ルウェ ネ ヤ
e=eramiskari ruwe ne ya
(お前)わからない こと だ か
- 思ったか。
- スンケ チャランケ イッカ チャランケ
sunke caranke ikka caranke
嘘の 談判 盗みの 談判
- おまえは『嘘の談判・盗みの談判』を
- エキ コロ コタン ウェンテ。
e=ki kor kotan wente.
(お前)しながら 村 を荒らす
- して村を荒らしていた。
- 170 アイヌ シリキラプテ エキ コロ アン シリ
aynu sirkirapte e=ki kor an siri
人 困らせる (お前)し ながら いる 様子
- 人を困らせているのを
- アエラミシカリ ルウェ ネ ヤ”
a=eramiskari ruwe ne ya”
(私)知らない こと だ か
- 知らないとでも思ったか」
- セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら
- と言って

イトイコキツキク ヒネ アフン アクス
 i=toykokikkik hine ahun akusu
 (私を)ひどく殴っ て 入っ たところ

私をひどく殴りつけ帰って行きました。

スイ イアクネクル
 suy iaknekur
 また 弟である人

弟のほうが

175 スイ ソイエネ ヒネ オラノ
 suy soyene hine orano
 また 外に出 て そして

また外に出て来て

ウウオカラパ イキク ロク イキク ロク ヒ クス
 uwokarpa i=kik rok i=kik rok hi kusu
 交代で (私を)何度も叩く ので

交代で私を何度も殴ったので

オラ ネノ アナン ヤクン
 ora neno an=an yakun
 こんど そのように いる(私) ならば

そこにいたら

アイライケ ノイネ シリキ ヒ クス
 a=i=rayke noyne sirki hi kusu
 (人が私を)殺す ように なる だ から

殺されると思いました。

オラ レイエレイエアン コロ
 ora reyereye=an kor
 こんど はいずり(私) ながら

はいずりながら

180 ネ ペタル オツ タ サナン ヒネ
 ne petaru or_ ta san=an hine
 その 水汲み場 の所 に 下る(私) して

水汲み場に下りて行って

オラ チプ オツ タ アフナン ヒネ
 ora cip or_ ta ahun=an hine
 そして 舟 の所 に 入る(私) して

舟に乗りました。

チプ オツ タ シニアン カ キ ヒネ
 cip or_ ta sini=an ka ki hine
 舟 の所 で 休む(私) も して

そこで休んでから

オラ サナン コロカ
 ora san=an korka
 こんど 下る(私) けれど

川を下って行きましたが

エネネ メノコ
 enene menoko
 あのような 女

あの女

185 チプ… ラリウアン ラポッケ
 cip… rariw=an rapokke
 舟 漕ぐ(私) 間に

私が舟を漕いでいると

“ウパッシ ウエンクル
 “upassi wenkur
 ウパッシ 貧乏人

「ウパッシの悪いやつが

- ス イ ヒナクン
suy hinak un
また どこか へ
またどこかへ
- スンケ チャランケ イッカ チャランケ
sunke caranke ikka caranke
嘘の 談判 盗みの 談判
『嘘の談判・盗みの談判』を
- クス アラパ シリ アン”
kusu arpa siri an”
しに 行く よう だ
しに行くみたいよ」
- 190 セコロ イイエ ア プ
sekor i=ye a p
と (私に)言っ た が
と言っていたので
- オロ タ ヘネ ヘノイエアン ルスイ クス
oro ta hene henoye=an rusuy kusu
そこ に でも 寄る(私) したい ので
そこにも寄ってみたくになりました。
- オラ スイ ネア メノコ チセ
ora suy nea menoko cise
こんど また その 女 家
あの女の家に向かって行き
- イフライエ コロ アナ メノコ コロ
ihuraye kor an a menoko kor
洗濯し て いた 女 の
洗濯をしていた女の
- ペタル オツ タ チプ アヤンケ ヒネ
petaru or_ ta cip a=yanke hine
水汲み場 の所 に 舟 (私)上げる して
水汲み場に舟をあげて
- 195 トシカ カ タ ヘメスアン ルウェ ネ アクス
toska ka ta hemesu=an ruwe ne akusu
丘 の上 に 登る(私) こと だっ たところ
丘の上に登って行くと
- ピリカ チセ アン ヒネ
pirka cise an hine
きれいな 家 あっ て
きれいな家がありました。
- オロ タ アラパアン ヒネ
oro ta arpa=an hine
そこ に 行く(私) して
そこに行って
- ス イ ネア ポン メノコ アン ウシケ
suy nea pon menoko an uske
また あの 若い 女 いる 所
その若い娘がいるところに
- コロ アン ヒネ
kor an hine
の あっ て
行って
- 200 アフナン ワ
ahun=an wa
入る(私) して
家に入りました。

チセ オツ タ アフン セコロ アイェ カ
 cise or_ ta ahun sektor a=ye ka
 家 の所 に 入る と (人)言う も

入りなさいと言われても

ソモ キ コロカ
 somo ki korka
 しない けれど

いないけれど

アフナン ルウエ ネ アクス
 ahun=an ruwe ne akusu
 入る(私) こと だっ たところ

家に入ると

ネ チセ オンナイ マクナタラ ルウエ
 ne cise onnay maknatara ruwe
 その 家 の中 見晴らしがいい こと

その家の中がきれいなことに

205 イヨクンヌレアン カ キ コロ
 iyokunnure=an ka ki kor
 驚く(私) も し ながら

驚きました。

インカラン ルウエ ネ アクス
 inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと だっ たところ

見ると

イトムンプヤラ チョロポク タ
 itomunpuyar corpok ta
 南窓 の下 で

家の右座側の窓の下で

ペウレ オッカヨ アイ カラ コロ アン ヒネ
 pewre okkayo ay kar kor an hine
 若い 男 矢 作り ながら い て

若者が矢を作っていました。

オロ タ アフナン ヒネ
 oro ta ahun=an hine
 そこ に 入る(私) して

そこへ行って

210 アエランカラブ ヒケ カ イエランカラブ カ
 a=erankarap hike ka i=erankarap ka
 (私)挨拶をし ても (私に)挨拶 も

挨拶の拝礼をしましたが私に返礼も

ソモ キ ノ アン ア プ… クス
 somo ki no an a p… kusu
 しない で いたが ので

しません。私が

“マク ネ ヒネ アレへ
 “ mak ne hine a=rehe
 どう で して (私の)名

「どうして私の名を

ポン メノコ アレへ
 pon menoko a=rehe
 若い 女 (私の)名

若い娘が

- ホントモ トウイエトウイエ⁽¹¹⁾ コロ
hontomo tuyetuye kor
 呼び捨てにし? ながら
- 215 “ウパッシ ウエンクル ウエン アイヌ サニ”
 “**upassi wenkur wen aynu sani**”
 ウパッシ 貧乏人 悪い 人間 の子孫
- セコロ イイエ
sekor i=ye
 と (私に)言う
- マク ネ ヒネ エネ イイエ ヒ ネ ヤ
mak ne hine ene i=ye hi ne ya
 どう で して このように (私に)言う ことだ か
- イルシカアン クス
iruska=an kusu
 怒る(私) ので
- チャランケアン クス エカン ルウエ ネ”
caranke=an kusu ek=an ruwe ne”
 文句を言う(私) ために 来る(私) こと だ
- 220 セコロ ハウエアナン ア プ セコロ
sekor hawean=an a p sekor
 と 言う(私) だった 途端に
- ネア オッカヨ スイ マッコサヌ ヒネ
nea okkayo suy makkosanu hine
 その 男 また ぱっと して
- “ウパッシ ウエンクル ウエン アイヌ サニ
 “**upassi wenkur wen aynu sani**
 ウパッシ 貧乏人 悪い 人間 の子孫
- エモト オロケ アエランペウテク クナク
e=moto orke a=erampewtek kunak
 (お前の)素性 の所 (私)わからない と
- エラム コロ エエク ルウエ。
e=ramu kor e=ek ruwe.
 (お前)思い ながら (お前)来る のか
- 225 アシヌマ アナクネ キナチャウカムイ⁽¹²⁾
asinuma anakne kinacawkamuy
 我 こそは キナチャウ神
- アネ ヒネ ネ… アナン ワ
a=ne hine ne… an=an wa
 (私)で そして その いる(私) して

呼び捨てにしたのだ。

『ウパッシの悪いやつ、悪い人間の子孫』

と言うので

どうしてそんなことを言うのかと思い

腹が立ったので

文句を言いに来たのだ」

と言った途端に

その男性は急に立ち上がって

「ウパッシ。この悪い人間の子孫め。」

おまえの素性を私が知らないとしても

思ってたのか。

私はキナチャウ神

である。

11 ホントモ トウイエトウイエ **hontomo tuyetuye** について前掲書では「何度も繰り返し呼び捨てにする」という上田トシ氏の説明があったとのこと。

12 キナチャウカムイ **kinacawkamuy** という神についての詳細は不明。

- ポンラム ワノ
 ponram wano
 小さい頃 から
- ウエインカラ ペ アネ ワ
 ueinkar pe a=ne wa
 透視をする もの (私)であって
- イシカラ エトコ タ オカ
 iskar etoko ta oka
 石狩川 の上流 に いる
- 230 ペウレ ウタラ ネ ヤッカ
 pewre utar ne yakka
 若い 人達 で も
- ピリカノ アエプンキネ ワ
 pirkano a=epunkine wa
 良く (私)守っ て
- メノコ オツ タ オツカヨ オツ タ
 menoko or_ ta okkayo or_ ta
 女 も 男 も
- アエプンキネ ワ アナン
 a=epunkine wa an=an
 (私)守っ て いる(私)
- ウシケ タ エアラパ ワ
 uske ta e=arpa wa
 ところ に (お前)行っ て
- 235 シリポク ヒナク ワ イタンキ オロ
 sirpok hinak wa itanki or
 糸くず どこ から 椀 に
- チセ コロ ウタラ シリポク
 cise kor utar sirpok
 家 の 人達 糸くず
- オマレ ヒ カ ソモ ネ。
 omare hi ka some ne.
 入れる こと も しない
- ヒナク ワ エミピヒ エヤサ ワ
 hinak wa e=mipihi e=yasa wa
 どこ から (お前の)着物 (お前)裂いて
- ネ シリポク イタンキ オロ エオマレ ワ
 ne sirpok itanki oro e=omare wa
 その 糸くず 椀 に (お前)入れ て
- 240 ネ シリポク パスイ アニ エタララ シリ
 ne sirpok pasuy ani e=tarara siri
 その 糸くず 箸 で (お前)持ち上げる 様子

小さい頃から

透視の力があるので

石狩川の上流に暮らす

若い兄弟を

見守っていたのだ。

女性も男性も

私が守っていた

ところにおまえが行ったのだ。

そして糸くずを椀に…

家の人達が糸くずを

入れたのではない。

おまえが自分の着物を裂いて

その糸くずを椀に入れて

箸で持ち上げたのを

アエランパウテク コロ
a=eranpewtek kor
(私)わからない で

わからないとでも

アナン ルウエ ヘ… ネ ヤ”
an=an ruwe he… ne ya”
いる(私) こと か だ か

思ったのか」

セコロ ハウエアン コロ イトイコキツキク。
sekor hawean kor i=toykokikkik.
と 言い ながら (私を)ひどく殴る

と言って私をひどく殴りつけました。

オロ タ スイ
oro ta suy
そこ で また

そこでまた

245 アエキツキク アイネ イニンパ ヒネ
a=ekikkik ayne i=ninpa hine
(私)を殴る あげく (私)ひきずつ て

殴られてひきずられて

オラ ペタル オツ タ サナン アクス
ora petaru or_ ta san=an akusu
こんど 水汲み場 の所 に 下る(私) したところ

水汲み場に連れて行かれ

チプ サパ タ チプ トウサニ
cip sapa ta cip tus ani
舟 触先に 舟 綱 で

舟の触先に舟のもやい綱で

イトイコシナシナ ルウエ ネ ヒネ
i=toykosinasina ruwe ne hine
(私を)ひどく殴る こと だ から

しばりつけられました。

オラ ヘレパシ イオプトウイェ テク ヒネ
ora herepasi i=oputuye tek hine
こんど 川に (私を)押す さっと して

そして舟を川に押し出されたので

250 オラ モマン ヒネ サナン アイネ
ora mom=an hine san=an ayne
こんど 流れる(私) して 下る(私) あげく

流されて川を下って行きました。

アコロ ペタル オツ タ
a=kor petaru or_ ta
(私)の 水汲み場 の所 に

私の水汲み場に

チプ ヤン ルウエ ネ ヒネ オロ タ
cip yan ruwe ne hine oro ta
舟 上がる こと で して そこ で

舟が上陸したのでそこで

ハウコシクルカオツテアン¹³ ルウエ ネ アクス
hawkosikurkaotte=an ruwe ne akusu
大声をあげる(私) こと だっ たところ

大声で助けを求めると

13 ハウコシクルカオツテ haw-ko-si-kurka-ot-te《声・を・自分・の上・につく・させる》

アコタヌン ウタラ イカオパシ イネ
 a=kotan un utar ikaopas _hine
 (私の)村 の 人達 助けに来 て

村人達が助けに来てくれました。

255 サツパ… ペタル オツ タ サツパ イネ
 sappa… petaru or_ ta sappa _hine
 下る 水汲み場 の所 に 下っ て

水汲み場に来て

アイトイコシナシナ ルウエ
 a=i=toykosinasina ruwe
 (人が私を)ひどくしぼる こと

私がしぼりつけられているのを

ヌカラパ アクス オラノ イコエヘセパ¹⁴
 nukarpa akusu orano i=koehesepa
 を見る と それから (私に)溜飲を下げる

見てざまあ見ろと言ひ

“ タネ アナクネ パラコアツ ワ
 “ tane anakne parkoat wa
 今 は 罰が当たっ て

「罰が当たったのだ。

ヒナク タ スイ エアラパ ワ
 hinak ta suy e=arpa wa
 どこ に また (お前)行っ て

どこかへまたおまえが行って

260 スンケ チャランケ イッカ チャランケ
 sunke caranke ikka caranke
 嘘の 談判 盗みの 談判

『嘘の談判・盗みの談判』を

エキ クス エアラパ ヤッカ
 e=ki kusu e=arpa yakka
 (お前)し に (お前)行っ ても

して

パラコアツ ワ クス
 parkoat wa kusu
 罰が当たっ たので

罰が当たったので

エネ アエトイコシナシナ ワ
 ene a=e=toykosinasina wa
 このように (人がお前を)ひどくしぼっ て

しぼりつけられて

エエク ルウエ ネ ルウエ ネ”
 e=ek ruwe ne ruwe ne”
 (お前)来る である の だ

来たのだな」

265 セコロ アウタリ ハウエオカ コロ
 sekor a=utari haweoka kor
 と (私の)村人 言い ながら

と村人達が言って

イコパシロタ コロ ネ コロカ
 i=kopasrota kor ne korka
 (私を)ののしり ながら だ けれど

私を罵倒しましたが

14 ehese 溜飲を下げる・鬱憤を晴らす. [久 171] ko-ehesepa 《に対して・溜飲を下げる (複数)》

ネ チプ サパ タ イシナ トウシ
ne cip sapa ta i=sina tus
その 舟 触先 で (私)しぼる 綱

しぼられていた綱を

ピタパ ワ イコレ ルウエ ネ ヒネ
pitapa wa i=kore ruwe ne hine
ほどい て (私)にくれる ことであって

ほどいてくれました。

オラ アウニ ウン レイエレイエアン コロ
ora a=uni un reyereye=an kor
こんど (私の)家 に はいずり(私) ながら

そして私は自分の家にはいずって行き

270 アウニ タ アラパアン ヒネ アナン ヒケ カ
a=uni ta arpa=an hine an=an hike ka
(私の)家 に 行く(私) して いる(私) しても

家に入りましたが

アウタリ イコエヘセ
a=utari i=koehese
(私の)村人 (私に)うつぶんを晴らしに

村人達はうつぶんを晴らしに

オラ ウウオカラパ ウウオカラパ アラキパ ワ
ora uwokarpa uwokarpa arkipa wa
こんど 代わる代わる 来 て

交代で来て

イキツキク ネ ヤ キ コロ アナン ラポツケ
i=kikkik ne ya ki kor an=an rapokke
(私を)殴る だ とかし ながら いる(私) うちに

私を殴ったりしました。

オラ アマチヒ カ
ora a=macihi ka
こんど (私の)妻 も

私の妻も

275 “テ ワノ アナクネ エトウラノ アナン クナク
“te wano anakne e=turano an=an kunak
これ から は (お前)と一緒に 暮らす(人) と

「これからは自分ひとりで暮らすように

エラム ハニ”⁽¹⁵⁾
e=ramu hani”
(お前)思い なさい

しなさいね」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言って

コロ ワ オカイ ペ オピッタ ウウオマレ ワ
kor wa okay pe opitta uwomare wa
持っ て いる もの みんな 集め て

荷物をまとめて

ソイエネ ワ イサム
soyene wa isam
外に出 て しまう

出て行ってしまいました。

15 「あなたと一緒に暮らすと思いなさい」という言い方だが、要するに愛想を尽かした奥さんが出て行くので「ひとりで暮らせ」と突き放されたということ。セリフがやさしさやいたわりを示すハニ hani で結ばれているところがまた皮肉たっぷり聞こえる。

- 280 オカ タ プイネ アナン ワ
oka ta puyne an=an wa
その後 で ひとりで 暮らす(私) して
- オラノ アエプ カ イサム
orano aep ka isam
そして 食べ物 も ない
- スケアン カ エアイカツ ペ ネ クス
suke=an ka eaykap pe ne kusu
料理する(私) も できない もの だ から
- アウタリ アラキパ ヤツカ
a=utari arkipa yakka
(私の)村人 来て も
- イコパシロタ イ アナクネ イコパシロタ コロカ
i=kopasrota _hi anakne i=kopasrota korka
(私を)ののしる こと は (私を)ののしる けれど
- 285 ネプ カ アエプ コロ ワ アラキパ
nep ka aep kor wa arkipa
何 も 食べ物 を持っ て 来る
- イエレ カ ソモ キ ノ
i=ere ka somo ki no
(私に)食べさせ も しない で
- イペルスイアン ネ ヤ キ コロ ヌワパン コロ
iperusuy=an ne ya ki kor nuwap=an kor
食べない(私) だ とかし ながら 苦しむ(私) ながら
- オハ チセ オツ タ アナン ラポッケ オラ
oha cise or_ ta an=an rapokke ora
空 家 の所 で 暮らす(私) うちに こんど
- アウタリ ネ ヤ
a=utari ne ya
(私の)村人 だ とか
- 290 オヤク オヤク タ アラパアン イネ
oyak oyak ta arpa=an _hine
それ ぞれ に 来る(私) して
- チャランケアン ワ アコロ ワ エカン
caranke=an wa a=kor wa ek=an
文句を言う(私) して (私)持っ て 来る(私)
- シントコ ヘマンタ ウウオマラパレ ウタラ
sintoko hemanta uwomarpare utar
行器 何か 集める 人達
- ケシト アラキパ ワ
kesto arkipa wa
毎日 来 て
- その後はひとりで暮らし
- 食べ物もなく
- 料理もできません。
- 村人達が来て
- 私をののしる人はののしるけれど
- 何も食べ物を持って来ず
- 私に食べさせないので
- お腹が空いて苦しんでいました。
- 空っぽの家にいる私に
- 村人が交代で
- やって来ます。
- それから私がなんくせをつけて
- 行器などを奪った家の人達が
- 毎日やって来て

コロ ワ オカイ ペ オピッタ コロ ワ
 kor wa okay pe opitta kor wa
 持っ て いる もの みんな 持っ て

持ち物をみんな持って

295 パイエパ ワ イサム オカ タ
 payepa wa isam oka ta
 行っ て しまう 後 で

行ってしまい

オハ チセ オツ タ アナン。
 oha cise or_ ta an=an.
 空 家 の所 に いる(私)

家は空っぽになりました。

シントコ トウブ レブ タクブ アナクネ アン ペ
 sintoko tup rep takup anakne an pe
 行器 2 3 だけ は ある が

行器がひとつふたつだけはありませんが

ネ シントコ オラ
 ne sintoko ora
 その 行器 こんど

その行器では

エネ イキアニ カ イサム ペ ネ クス
 ene iki=an _hi ka isam pe ne kusu
 どう する(私) こと も ない もの だ から

どうしようもないので

300 アキツキク アペレパ ワ
 a=kikkik a=perpa wa
 (私)叩く (私)裂い て

叩いて裂いて

カラカラセアン コロ アウク ワ
 karkarse=an kor a=uk wa
 転がる(私) ながら (私)取っ て

転がって行って

ホカ アオ ランケ コロ アナン ヒケ カ
 hoka a=o ranke kor an=an hike ka
 火に (私)くべる 何度もし ながら いる(私) しても

火にくべることを繰り返していても

ライ カ アコヤイクシ。
 ray ka a=koyaykus.
 死ぬ も (私)できない

死ぬこともできません。

イペアン カ ソモ キ ノ アナニケ カ
 ipe=an ka somo ki no an=an _hike ka
 食事する(私) も しない で いる(私) して も

食事をすることもできず

305 ライ カ アコヤイクシ。
 ray ka a=koyaykus.
 死ぬ も (私)できない

死ぬこともできず

オラ アウタリ アラキパ ワ
 ora a=utari arkipa wa
 こんど (私の)村人 来 て

村人達が来て

イコパシロタ ネ ヤ イキツキク ネ ヤ
 i=kopasrota ne ya i=kikkik ne ya
 (私を)ののしる だ とか (私を)殴る だ とか

私をののしったり殴ったりして

- キ コロ アナニケ カ
 ki kor an=an_hike ka
 し ながら いる(私) しても
 いましたが
- ライ カ アコヤイクシ コロ
 ray ka a=koyaykus kor
 死ぬ も (私)できない で
 死ぬこともできずに
- 310 ネノ アナン アイネ
 neno an=an ayne
 そのように いる(私) あげく
 いて
- カラカラセアン コロ アナン アイネ
 karkarse=an kor an=an ayne
 転がる(私) ながら いる(私) あげく
 転がっていると
- トイ ヤシケ ヒネ
 toy yaske hine
 土 裂ける して
 土が裂けて
- オロ アオシマ プ ネ アクス¹⁶
 oro a=osma p ne akusu
 そこに (私)入る もの だったところ
 そこに入ってしまいました。
- テワノ オカ ウタラ アナクネ
 tewano oka utar anakne
 これから いる 人達 は
 これからの人達は
- 315 スンケ チャランケ イッカ チャランケ
 sunke caranke ikka caranke
 嘘の 談判 盗みの 談判
 『嘘の談判・盗みの談判』をして
- スンケ コロ ポカ
 sunke kor poka
 嘘 をつく だけで
 嘘をつくのみで
- ウサ オカイ ペ ウウオマラパレ ソモ キ
 usa okay pe uwomarpare somo ki
 いろいろある もの 集める しない
 いろいろなものを集めることはしない
- ヤク ピリカ ナ
 yak pirka na
 と いい よ
 ほうがいいぞ
- セコロ シネ アイヌ イソイタク
 sekor sine aynu isoytak
 と ある 男 物語る
 とひとりの男が物語りました
- 320 セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と さ
 とさ。

16 物語中でみられる悪いおこないをした人間の末路。供養してくれる人ももちろんなく、人の死に方としては最悪。悪いことをするとこんな憐れな最後を迎えるのだという戒めになっている。